

新潟県観光物産情報発信拠点「NEXUS（ネクサス）」

新潟県観光物産情報発信拠点NEXUS（ネクサス）（令和6年1月開設予定・新潟市中央区本町通4番町281）にて、新潟市内には少ない観光体験スペースにて、訪日外国人・日本人観光客を対象とした観光・体験コンテンツを提供します。



地域の課題

現在新潟市の中心部は、「新潟駅」の再開発や「万代」の商業施設の発展、郊外の大型ショッピングモールなどがあり若年層の往来が減少している。古町ルフルの完成により、市役所の行政機能が移転し人の往来が期待される中、「にいがた2km」の取り組みも併せ古町地区の発展を目指しているが、観光資源を活かした新潟の街づくりといった視点では、具体的な取り組みが不足しているのが課題である。古町地区の環境として、若年層の新しい風が必要である。若い方が行きたいと思うような環境づくりには、オンラインとオフラインの継続的な融合が必須と考えており、「認知」部分の情報発信が課題である。次の3点にまとめられる。「地域活性化」・「観光振興」・「建物の老朽化」

インバウンドの課題は以下の3点である。

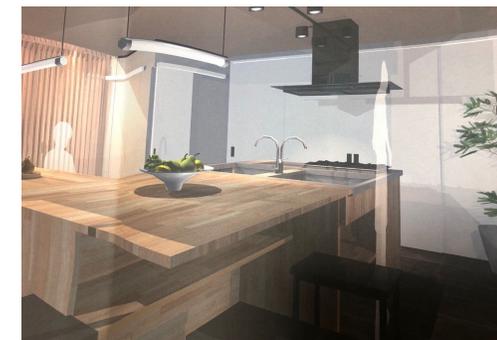
①インバウンド観光客向けのコンテンツの充実②多言語対応の充実③滞在時間の延長

古町の課題を解決させる事で、街そのものの魅力づくりを行い活性化を図る。街が魅力的なコンテンツとなれば、インバウンド促進に繋がる。インバウンドの観光事業でポイントとなるのは、「モノ」ではなく、「体験」「経験」の価値を重視する消費行動“コト”である。よって、体験価値の創出を行う事が最も重要な課題となる。



作成するインバウンド向け観光コンテンツの内容

	着物着付け体験	書道体験	郷土料理のお料理教室	SAKE講座
ニーズ	着付けの方法が分からない方や、着付け体験をしたくても、外国人対象の着付け体験を提供していない。	漢字がプリントされたTシャツを着用したり、体に漢字の外투を入れる等、漢字そのものへの関心は高い。	米の食文化を理解したい、またその為の体験を行いたい方が多い。	日本酒は海外での人気が高まっている。ただ、酒類の豊富さから、何を選べばよいかまで分からない人も多い。
内容	着付け体験を提供する。また、今なお、情緒あふれる歴史的町並みが残る古町エリアを、着付けをしたあと約30分程度のお散歩時間も設ける。着付けだけでなく、外を歩くことで、より濃度の高い体験を提供する。	自分の名前に漢字の当て字をしてもらい、その名前を書道で書く体験をしよう。書いた名前は、お土産に持って帰ってもらう。漢字には、それぞれ意味があるので、名前に使用した漢字の意味も知り、満足度も高めていく。また、書道体験では、墨をする体験もしてもらい、その中で「書道」について、海外の「カリグラフィー」との違いを知るなど日本文化の体験を充実させる。	米どころ新潟県の自慢の米で、「おにぎり」を一緒に作り、楽しむという体験。「おにぎり」は、アニメにも出てきて認知度も高い。また調理法として「米を手で握る」ことは初めての体験となる方も多く期待できる。土鍋から米を炊き、炊きあがるまでの間に、「梅干し」等日本の保存食なども説明し、日本食文化の理解も深める。おにぎりの他、のっぺ、笹団子づくり等のパリエーションを揃え、新潟ならではの豊かな食文化を提供。	・利き酒講座：味や香りの違いを感じてもらい、酒類の豊富な酒の味わいや、好みの酒を見つけてもらう。 ・ペアリング講座：フードとお酒の組み合わせのポイントを知る。飲む温度によって、味わい方も変わるので楽しみ方の幅を広げてもらう。 ・カップ酒の楽しみ方：手軽に楽しめるカップ酒にも、種類が豊富でお気に入りを見つけてもらう。
サービス提供時間	90分～120分	60分～90分	90分～120分	60～90分



アピールポイント (独自性、地方誘客や観光消費拡大への効果など)

・新潟市内では、インバウンド向け観光体験できるコンテンツが少ないので、NEXUSの提供するサービスが、新潟の魅力を変え、多岐に体験できる、新潟市初の観光コンテンツとなる。

・“コト”消費に特化しているため、その体験を通して「米」、「SAKE」の消費拡大や、郷土料理を楽しむため飲食店への波及、「着物体験」で散策もするので、近隣への経済効果も大きく期待できる。

スケジュール

2023年6～12月観光コンテンツの企画開発、専門家による意見聴取、多言語対応、物品購入、改装工事
2023年12月モニターツアーの実施、PRイベントの実施
2024年1月15日事業開始

